

島商生が「5374（ゴミナシ）アプリ島田版」を作成

◎環境課 ☎36・5374

5月18日、アプリケーションの作成、オープンデータの活用について積極的に取り組んでいる島田商業高校情報ビジネス科が、市の「平成27年度 収集カレンダー資源とごみの分け方・出し方」をアプリ化し、市長のもとへ報告に訪れました。

市内の地区別のごみ収集日と分別について、スマートフォンで簡単に確認できるのが特徴。生徒たちは、収集カレンダー担当の市環境課と細かな部分を確認しながら、市民が使いやすいアプリを開発しました。

□<http://shimasho-shimada.5374.jp>



市長にアプリの特徴を説明する島商生

新規採用職員の家族が職場を見学

◎人事課 ☎36・7136

5月19日、「平成27年度 新規採用職員の家族を対象とした職場見学会」を県下で初めて開催しました。

これは、新規採用職員の家族に職場を見て安心してもらうとともに、より島田市に愛着をもってもらうことを目的として実施したものです。

参加した家族11人は、執務室や議場などを見学した後、新規採用職員が淹れたお茶を飲みながら、市長と笑顔で懇談しました。参加者からは「実際の仕事を見られて良かったです」との喜びの声がかげられました。



市役所の業務について説明を受ける参加者

青空の下「ブランドデザイン・ワークショップ」始まる

◎広報課 ☎36・7118

5月15日、市は島田市独自の魅力を発掘し、島田ブランドとして市内外に効果的に発信する方策を考える「第1回ブランドデザイン・ワークショップ」を、島田駅北口イベント広場で開催しました。

市職員や民間事業所など約30人が参加するこのワークショップでは、「市のシンボルとなる「ブランドメッセージ」と「ロゴ」の制作を目標に、その活用や事業展開を8回にわたり話し合います。今後は、全国の事例調査や島田オリジナルの魅力を探り

ながら、具体的なデザインを検討していきます。



青空会議を駅前で開催

ばら制定都市会議inしまだ（ばらサミット）開催

◎市街地整備課 ☎36・7187

5月28日・29日の2日間、バラの花が満開となった「ばらの丘公園」を会場に、バラを自治体の花などに指定している全国の14都市が集い「ばら制定都市会議」（通称ばらサミット）が開催されました。

会議では、参加都市によるバラを活用した「地域づくり」に関する取り組み状況の発表のほか、「バラの花を通じて一層連携を深め、共に前進を」とする島田サミット宣言を採択しました。

また期間中、島田バラ愛好会や各

地区の花の会が栽培したバラの鉢植えやプランターが、ローズアリーナ内や周囲に並び、会場に花を添えました。



参加した自治体の皆さん